

かはくスクールプログラム

かはくスクールプログラムは、学校団体のみなさんにより効果的に博物館を活用していただくために国立科学博物館の標本や資料を活用しながら体験的な学習をするプログラムです。

プログラムは来館型とオンライン型の2種類設けていますので、各学校のニーズに応じてぜひご利用ください。

- ▶対象：教科の学習や総合的な学習（探究）の時間で利用する小学校・中学校・高等学校・特別支援学校等の学校団体
- ▶実施日時：【来館型】火～金曜日 9:30～16:00 【オンライン型】月～金曜日 9:30～16:00
（※来館型では休館日及び祝日を除く / オンライン型では祝日を除く）
- ▶費用：無料（来館型では引率教員の常設展示入館料は有料ですが、入館料の免除申請書を提出いただくことで無料となります。）

かはくたんけん！



【来館型】



【オンライン型】

より効果的に展示を見学していただくためのガイダンスです。
実物資料を使ったお話や、展示の見方、見学の際の注意事項などをお伝えします。
※展示見学の際、ボランティアや職員の引率はありません。
オンライン型では国立科学博物館の展示室や外観をオンラインで鑑賞することができる「かはくVR」を用いて実施します。
▶所要時間：【来館型】20分 【オンライン型】30分程度
▶参加人数：【来館型】最大120名

博物館のお仕事インタビュー



【来館型】



【オンライン型】

当館職員（学校連携担当）が博物館の仕事について紹介したのち、児童・生徒からの質問にお答えします。
※研究部職員へのインタビューは行っていません。
“博物館の仕事”や“博物館で働く人”に関するご質問にお答えします。
▶所要時間：【来館型】30分程度 【オンライン型】40分程度
▶参加人数：【来館型】15名程度 【オンライン型】15名程度
※参加人数が15名を大幅に超える場合は、別途ご相談ください。

鳥のくちばしのひみつ



【来館型】



【オンライン型】

来館型は鳥類の頭骨標本を観察し、くちばしのつくりやはたらき、食べ物や生息している環境などを身近な道具を使って推理します。
オンライン型は様々な鳥の標本を観察することを通して、鳥のくちばしや足の形の違いなど、体のつくりのひみつについて考えます。
●活用例：小学校第6学年理科、中学校第3学年理科「生物と環境」
中学校第1学年理科「生物の体の共通点と相違点」
▶所要時間：45分 ▶参加人数：【来館型】最大40名

骨ほねウォッチング



【来館型】



【オンライン型】

来館型はバラバラになった人体骨格模型を組み立てながら、人の体のつくりについて楽しく学びます。
オンライン型はヒトや様々な動物の骨格標本を観察することを通して、骨の形と動きについて考えます。
●活用例：小学校第4学年理科「人の体のつくりと運動」
▶所要時間：45分
▶参加人数：【来館型】最大40名

生態系のバランス



【オンライン型】のみ

国立科学博物館附属自然教育園での外来生物駆除に関する調査研究を主な題材に、生態系のバランスについて考えます。
●活用例：中学校第3学年理科「生物と環境」、
高等学校生物基礎「生態系とその保全」、高等学校生物「生態系」
▶所要時間：50分

■お申込みに際してのお願い

申込みは学校団体等の教職員が行ってください。受付期間は基本的に実施希望日の前月1日までとなります。申込みフォームより、ご希望のプログラム、日時、人数等をお知らせください。受付状況によってご希望に添えない場合がございます。あらかじめご了承ください。その他、詳細や注意事項をwebページにてご確認ください。



詳細や最新の内容、お申込みはwebページよりお願いします。

<https://www.kahaku.go.jp/learning/learningtool/material/schoolprogram.html>